

一地第 209 号

平成 20 年 10 月 16 日

国土交通省道路局長 殿

一戸町長 稲葉 暉



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成 20 年 9 月 19 日付け、国道企第 37 号で依頼のありました標記
について別紙のとおり提出いたしますのでよろしくお願い申し上げます。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

道路は、経済・社会基盤としての交通機能を支える最も基本的な施設であるとともに通勤・通学・通院等のあらゆる日常生活を支え、災害時における避難路・輸送路等の重要な社会資本として、その整備への期待はたいへん高いものとなっている。

また、急速に進展する少子・高齢化や地方における深刻な医師不足や医療の広域化など、社会情勢が急激に変化する中、これらの諸課題に対応する活力ある地域づくりを推進するためには、機動的な道路整備がより一層重要になっている。

地方における豊かな生活基盤を確立し、地域の自立を図り、誇れる郷土を次世代に引き継ぐため、根幹的な社会資本である道路の着実な整備と良好な道路機能の確保を進める必要がある。

特に、地方においては生活手段として自動車は欠くことのできないものであり、道路整備の必要性は極めて高く、その中でも本県は、広大な県土に加え急峻な山地が連なる地理的条件と、ほぼ全域が積雪寒冷地という気象条件にあり、安全で安心な暮らしの確保の上で道路整備が最重要課題となっている。とりわけ、当町は内陸山岳地帯という地理的条件から、道路整備が著しく立ち遅れているため、最も基本的な生活基盤である道路の整備を求める住民の声は切実である。

政府・国会は地方道路整備臨時交付金制度が、地方にとって真に必要な道路整備のための不可欠な財源であることを十分認識すべきである。このため、次の事項について特段の配慮がなされるよう強く要望する。

記

一、遅れている地方の道路整備について、地域の諸課題に的確に対応できる地方道路整備臨時交付金等により一層の重点的支援が図られるよう、必要な金額を確保すること。

一、道路特定財源の一般化について、必要な道路整備財源が安定的、かつ、確実に確保され、既着手済み事業の財源を保障する等、地方公共団体の財政運営に影響を及ぼすことのない制度を検討すること。

(当町においては、地域再生計画の認定(道整備交付金)を受け道路事業を平成 22 年度までの債務負担行為で実施中である。仮に交付金が削減された場合、予算が執行停止に追い込まれ、業者から賠償責任を求められることが予想される。このことから、強く国の財源確保を求める。)

②ー1 地域の現状と抱える課題

○現状

- ・国道4号一戸バイパスより北の国道4号はカーブが連続しており特に冬期間、日陰箇所では車両のスリップ事故が発生している。
- ・国道4号小島谷バイパス北部、未着工区間について、法面保護により土砂崩落の危険はなくなったが、鉄道跨線橋箇所付近が低いため大雨時には水が集まり通行に支障がでる。
- ・国道4号一戸町中山地内から岩手町吉谷地地内にかけては、坂を下るとS字の急カーブと鉄道下を横断し、さらに急カーブと見通しの利かない坂道が続いており、特に運転には神経を使う箇所があります。
- ・国道4号現在上り線側の歩道が一部切れているため歩行者や自転車通学者等、一旦車道に出たり横断歩道を渡り下り車線側の歩道を通り、再度上り車線の歩道に渡る必要が有る。
- ・町役場と市街地中心部との東西の往来は、南北に走る鉄道盛土により二分された状況にあり、大型車の通行可能な東西方向の路線は、わずか1路線を備えるだけの状況です。その唯一の路線は、道路施設は老朽化が著しく、防災上極めて脆弱な道路構造を有している。また、冬期は積雪寒冷の度がはなはだしい環境下にありながら、市街地の骨格を形成する現道は、その随所で線形不良、かつ狭幅員の区間が連続しており、冬期交通の安全性や高齢化社会における交通安全性の面で、大いに危惧される状況にあります。

○課題

- ・国道4号 604.7km北の延伸
- ・国道 598.4km北の延伸
- ・急カーブ2箇所の緩和
- ・歩道整備
- ・一戸都市計画道路 3・4・1 上野西法寺線第三期事業の整備

急速に進展する少子・高齢化や地方における深刻な医師不足や医療の広域化など、社会情勢が急激に変化する中、これらの諸課題に対応する活力ある地域づくりを推進するためには、機動的な道路整備がより一層重要になっている。

地方における豊かな生活基盤を確立し、地域の自立を図り、誇れる郷土を次世代に引き継ぐため、根幹的な社会資本である道路の着実な整備と良好な道路機能の確保を進める必要がある。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

岩手県一戸町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・総合的な交通安全対策	4号一戸バイパス 604.7km 以北延伸 4号小鳥谷バイパス 598.4km 以北延伸 4号岩手町境付近のカーブの緩和	安心安全な道路 産業経済の向上 有効な土地利用	
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	4号鳥越地区 607.1～607.3km) 歩道整備	安心安全な歩行空間	鳥越児童館 鳥越小学校
・地域活力の向上及び幹線道路のネットワーク整備	一戸都市計画道路3・4・1 上野西法寺線第三期事業	救急医療活動を支える(病院まで 4 分短縮) 防災道路として、避難路指定。 国民体育大会 2016(岩手)に対応した高速道等へのアクセス道 時間帯一方通行の解除	県立一戸病院 総合運動公園 一戸町体育館